

令和6年度 第1回男女共同参画推進委員会 議事録

日時	令和6年7月8日(月) 開会:午前10時 閉会:午前11時30分
会場	蕨市役所 3階 3-1会議室
出席	足立明美委員長、岩渕養光副委員長、栗原元一委員、辻美由紀委員、加藤光男委員、坂口麻美委員、横山直子委員 事務局(課長・倉石、係長・庄野)
資料	資料1-1 令和5年度男女共同参画関連事業報告調査 資料1-2 令和5年度DV関連事業報告調査 資料2-1 男女共同参画パートナーシッププラン(第3次)指標一覧 資料2-2 男女共同参画パートナーシッププラン(第3次)主な取り組み一覧 資料3 審議会等の女性委員の登用状況

1. 開会

2. 委員長あいさつ

会議の公開及び傍聴について「蕨市市民参画と協働を推進する条例」に基づき定められた「蕨市審議会等の会議の公開に関する要綱」により、この会議の公開を決定し、傍聴にかかる取り決めを行った。(今回の傍聴者は無し)

3. 議題

(1)令和5年度男女共同参画関連事業報告について

令和5年度男女共同参画関連事業報告について事務局から説明。

(2)令和6年度男女共同参画関連事業報告について

令和6年度男女共同参画関連事業計画について事務局から説明。

【質疑応答】

(委 員) 第3次プランの指標「学校教育の場」の分野で平等になっていると考える市民の割合について、平等と感じている市民の割合が 52.4%であり、回答者の半分位の方しか平等であると感じていなく、驚いた。学校現場では、コロナ禍や防犯体制の関係で、市民へ公開ができない状況であり、発信できる情報が限られていて、HPや学校だよりで学校の状況を市民の方へ伝えているが、男女平等教育について特化することは、ほとんどないため、今回の結果となったのは、学校側のアピール不足や学校の実情を知らない方が昔の認識で回答していることが考えられる。どのようにすれば伝わるのか、ご意見をいただきたい。そして、学校教育の現状を市民の方に知ってもらいたい。

(事務局) アンケートは、18 歳以上の 1,000 人の市民へ無作為抽出で行っているため、

委員の言う通り、回答者の中には、実情を把握していない方もいることが考えられる。今回の委員のご意見を伺うと、この項目を指標とすることを次回以降は検討しなければならないと思う。

(委 員) 3次プランの指標「保育所入所待機児童数」について1人というのは、何人かいるのであれば理解できるが、どうしてなのか。

(事務局) 調査確認時点での件数となる。現状は、認可保育園が増えているため、入りやすい状況になっている。現状値については、年度当初に担当課へ確認をしている。

(委 員) DV計画に「被害者の安全確保」とあるが、年間どのくらい相談があるか。

(事務局) 年間 400 件くらいDV相談がある。

(委 員) 相談窓口で対応するのはどのような方なのか。

(事務局) 女性相談支援員が週3日、それ以外は職員が対応している。

(委 員) 市役所の相談窓口のことが分かった。

(3)審議会等への女性の登用状況調査報告について

審議会等への女性の登用状況調査報告について事務局から説明。

【質疑応答】

(委 員) 専門性の高い分野は、女性登用を促すのは難しいのだと感じた。

(事務局) 委員改選の際でもなかなか新しい方の選出は難しいのが状況である。

(4)その他

【質疑応答】

(委 員) 男女共同参画の市民意識調査については、回答者の年齢層によって感覚が違いため、学校の現在の状況については、身近で関わっていないと分からないと思う。そのため、アンケートの回答が全てではないと思う。また、男女共同参画に関する行事等について知らないことがあるので、周知していただきたい。

(事務局) 今後、男女共同参画に関わる講演会等の案内を委員の方へも送る。

(委 員) 民生委員として避難所で何ができるのかと思い、男女平等推進市民会議へ防

災教室を依頼し、7月に開催予定である。

（委員） 市内の小学校のPTAや子ども会がなくなってきているため、町会へ小学生の朝の登校時の見守りの依頼があった。親が仕事でいないや子どもが遊ぶ場所がないなど、子どもを育てる環境についても考えていかなければならないと思う。また、子ども会会長やPTA会長、町会長が話し合い、スポーツ大会などのお金をかけずに地域でできるイベントを考えているが、参加者が減ってきているのが現状である。

（委員） PTAについてはなくなってはいない。これまでPTAは、保護者に委員会の割り振りをし、行っていたが、今は共働き世帯が多いことなどで、PTAは執行部だけにして、サポーター制に移行し、ボランティアで参加できるところは参加して欲しい、としているところが多い。また、蕨市の市PTA連合会は県のPTA連合会から今年度脱退している。そのため、以前のような活動に対する強制力が無くなったと思う。今後のPTA活動について、検討していかなければならないのが現状である。

（委員） 地域と家庭と学校で三位一体となって子どもを育てようという考え方はなくなってきているのだと思う。

（委員） 小学生の放課後の過ごし方については、共働き世帯は学童保育に入れているのがほとんどで、学童の人数は増えてきており、最近は民間の学童もある。

また、子どもの放課後の遊び方を見ていると昔と違い、ゲームを持ってきて遊んでいることが多く、それに伴い金銭トラブルも増えている。保護者への啓発を考えていかなければならないと思う。

（委員） 学校では一人一台タブレットを配付していると思うが、先日学校の土曜塾でYouTube を見ている児童がいた。ネットは多くの情報を入手できるため、大人が知らないような危険な情報まで知りうることもある。使用の制限はできないのか。

（委員） タブレットは学習用で、学校内と家庭でしか使ってはいけないという決まりだと思うため、見かけたら注意して欲しい。YouTube やラインなどの規約に、未成年の使用については保護者の責任であると書かれている。学校でも改めて指導をする。

（委員） 子ども会や町会入会の促進の案内がある一方で、自分の地域の子ども会がなくなり、子ども会に入りたくても入れなく、別の地域の子ども会に入っている世帯もあるため、今後の子ども会や町会の在り方について考えていかなければなら

と思う。また、学校の状況は、自分の住んでいる地区の場合、学校だよりである程度は分かるが、防犯上やコロナの関係で、昔のように一般の方もみることができ学校公開等がなくなり、小学校の状況が分からず、地域と学校との繋がりが少なくなっているように感じる。そのため、道で子ども達とあいさつをすることも少なくなってしまう、コミュニケーションも取りづらくなっている。地域と子ども達との関わりが少しでも持てるようになると良い。

（委員） 女性の就労機会が増えてきたため夫婦共働きで、子ども会やPTAの役員のなり手が無いと言うが、20 年以上前からそのような状況だと思う。全く活動できない訳ではなく、どこかで協力できる時間は作れると思うし、実際、自分の子どもの習い事などのためには、何とか時間を調整している。自分たちのことなら時間を作れるのだから、地域のことにともと思うが、実際には難しい。

（委員） 企業等へ働きかけて、子どもが健やかに育つために、有給がもっと取りやすい環境になると良い。

（委員） 夏休みを短くして欲しいという保護者が 20%以上いるということが新聞記事になっていた。共働き家庭は、学童のお弁当を作らなくてはいけないなど大変だと思う。

（委員） 昔は、先生が自分の子どもの入学式や卒業式などの学校行事に出られなく、大変だと思っていたが、先日卒業式に臨席した際に、先生が自分の子どもの卒業式のため欠席している、と言う内容のアナウンスが流れほっとしたし、良かったねという周りの声も聞こえた。自分の子どもを優先して良いと思う。また、最近は、平日でも父親が子どもを抱っこして子育てをしている姿を多く見る。改めて、時代は変わってきているのだと感じた。

（委員） 先生方は定時で帰り、家庭に仕事は持ち帰らないということを信念に持ち、何十年も行っている学校がある。先生が生徒にそのような姿を見せて学ばせているのだと感じた。

（委員） 男女共同参画って何？という時代から色々な面で変わり、誰でもやりたいことができる、生きづらさを感じずに生きていけるようになっていけば良いと思う。

4. 閉会